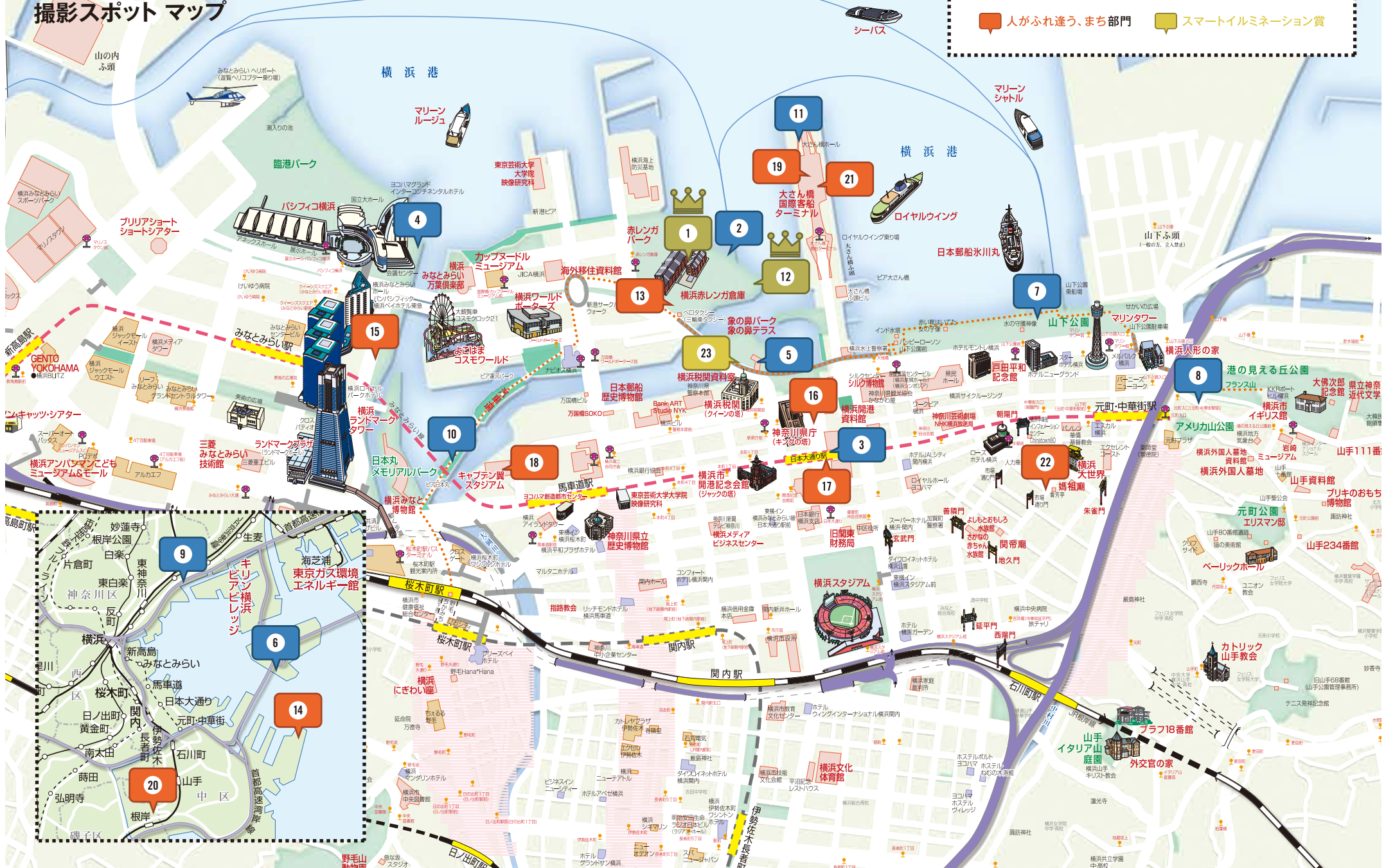


# PHOTO CONTEST

## 撮影スポット マップ

ヨコハマ365日フォトコンテスト受賞作品と、その撮影場所をご紹介します。  
ぜひこの地図をもって横浜散策に出かけてみてください。

- 最優秀賞
- 残したい・伝えたい景観部門
- 人がふれ逢う、まち部門
- スマートイルミネーション賞



残したい・伝えたい景観部門

最優秀賞



撮影者からのコメント

赤レンガの美しい光の庭のようなライトアップ。きらめく光を見守る赤レンガが印象的でした。

審査員からの講評



渡部陽一 写真家

横浜の色、イメージ、美しさを表現し尽くした一枚であると感じました。この写真を見たときに、これこそThe Yokohamaだと感じました。光のコントラストが魅力的です。



天野太郎 横浜美術館 首席学芸員

慣れ親しんだ風景がここまで変化を見せるのか、というほど全く別の顔を感じさせます。



ハマコ 横浜観光コンベンション・ビューロー公式キャラクター

暖かな光でライトアップされた2棟の赤レンガ倉庫の間に設置されたまばゆいばかりのフラワーガーデン。異なる光の演出を、絶妙にとらえ、何とも幻想的な作品に仕上がっているなあ~と思いました♪

優秀賞



撮影者からのコメント

赤レンガ付近からの朝焼けです。周りが赤くなり大枝橋とベイブリッジが浮かびあがって来て綺麗でした。

審査員からの講評

渡部陽一 写真家

私は横浜に住み、横浜の夕日の美しさに魅せられています。この写真は光のグラデーションの美しさと横浜の港の横の線と曲線のバランスを絶妙に描きだした一枚であると感じました。

天野太郎 横浜美術館 首席学芸員  
 水平だけの構成は撮影者の意図が強く伝わりました。

ハマコ 横浜観光コンベンション・ビューロー公式キャラクター  
 朝焼けがとても美しい1枚ですね！横浜は夜景の美しさが有名ですが、海に面した公園や広場が多いので、冬の晴れた日などは朝焼けがとても綺麗なですよ◎



撮影者からのコメント

関内駅近くに通務していた頃、この場所を通って出張に行っていました。いちようの木がお店の扉のガラスに写り込んでいて、この時期限定の「黄色い世界」に引き込まれていきそうです。

審査員からの講評

渡部陽一 写真家

横浜の街は四季の変化にあわせて魅力が増す街であると感じています。イチョウの葉の色、その照りかえしが写真全体を引き立てています。美しい横浜の象徴の一枚です。

天野太郎 横浜美術館 首席学芸員  
 横浜らしさという点において、この場所が共有の記憶のイメージとして対応しいかどうか、もう少し説得力があるとなお良いと感じます。

ハマコ 横浜観光コンベンション・ビューロー公式キャラクター  
 ガラスに映りこむ銀杏並木がとてもきれいな1枚だと思います。



撮影者からのコメント

冬の朝は横浜の景観に感動と安らぎをあたえてくれる気がする。これも歴史ある港町ならではの情緒ある風景ではないだろうか。

審査員からの講評

渡部陽一 写真家

雲の流れ出す勢いが響いてきます。線の構図であえて空、雲に焦点をあてた構図をとられていること、そして太陽の色彩が写真全体を引き締めていると感じました。

天野太郎 横浜美術館 首席学芸員

横浜らしさという点において、この場所が共有の記憶のイメージとして対応しいかどうか、もう少し説得力があるとなお良いと感じます。

ハマコ 横浜観光コンベンション・ビューロー公式キャラクター  
 朝焼けに照らされた港と雲の流れがこれから始まる1日を感じさせてくれる、エネルギーに満ちた1枚だと思います。



撮影者からのコメント

特徴のある横浜税関の建物が薄霧に浮かび上がって、シンボルとしての存在感を見せていました。

審査員からの講評

渡部陽一 写真家

桜木町の持つ歴史と哀愁を伝えて一枚であると感じました。一点の光が中心の建物を際立たせることで、全体を華やかにさせるよりも桜木町の空気がひびひと伝わってきました。

天野太郎 横浜美術館 首席学芸員  
 決して珍しいない風景を改めて見直させることになりました。

ハマコ 横浜観光コンベンション・ビューロー公式キャラクター  
 Queenという愛称で親しまれる歴史的建造物、横浜税関。愛称が示すような、女性らしい優しく落ち着いた印象を与える夜景写真に仕上がっているな、と思いました。

ソーシャルメディア賞



撮影者からのコメント

横浜ベイブリッジとランドマークが撮影できる場所を探している内に大黒ふ頭へと辿り着きました。みなとみらい方面に夕日が沈む頃、ベイブリッジもブルーにライトアップされ、夕景のような夜景のような写真を撮影してみました。



撮影者からのコメント

夕暮れの山下公園カモメがたくさん、呼びかけるところを向いてくれました



撮影者からのコメント

突然降り出した雨。港の見える丘公園で雨宿りをしていたら、眼下の横浜の街に虹が！なんとも素敵な瞬間に立ち会えました。



撮影者からのコメント

横浜という「みなとみらい」の超高層ビル群、そして港の美しい夜景、もしくはは外国船が行き交う構図などをイメージすると思います。しかし横浜からほど近い宇田には、それらとは全く違うもうひとつの横浜、忘れ去られた昭和の面影があります。これもまた、残したい伝えたい景観です。



撮影者からのコメント

横浜の夏を象徴する神奈川新聞花火大会。素晴らしい夜の夜空に打ちあがる花火は日本でも代表的な花火大会のひとつ。毎年楽しみにこの日を行っています。

横浜ウォーカー特別賞



撮影者からのコメント

Osanbashi pier : Three towers of Yokohama - Jack Queen King

審査員からの講評

鷹取祐子 横浜ウォーカー編集長代理

イラストの場所は話題のラッキースポット。その先には、逆光で影とっていますが、かつて外国船員達から親しまれたリアルな三塔Jack、Queen、Kingが。時代で役割は変わってもシンボルであり続ける、新旧の横浜が一枚に表現されています。

# 最優秀賞



12

### 撮影者からのコメント

赤レンガ倉庫前の石畳にて立ち話をする家族。夕日に照らされた石畳とその光に包まれる親子、その光と影が印象的でした。

### 審査員からの講評

渡部陽一 写真家

横浜の魅力の石畳が背景を彩り、家族のシルエットとそこからのびる影が家族のやさしさを伝えてきます。表情ではなく家族のシルエットから暖かさを伝える演出に魅せられます。

天野太郎 横浜美術館首席学芸員

シルエットに特化することで人の印象が非常に際立っています。場所性も感じられたらなお良かったです。

ハマコ 横浜観光コンベンションビューロー公式キャラクター  
夕日に照らされた赤レンガ倉庫の石畳とのことですが、光と影のコントラストがとっても印象的な一枚。谷崎潤一郎さんの著書『陰翳礼讃』を思わず思い出しました◎

# 優秀賞



13



14



15



16

### 撮影者からのコメント

本牧ふ頭にある 横浜港シンボルタワー前広場に「ペルーの舞踊団」がやってきて動きの激しい踊りを披露してくれました。観光客で賑わいました。

### 審査員からの講評

渡部陽一 写真家

どのようにして撮影をされたのだろうと目を惹かれました。被写体との間に横線を入れる技術、まるで天然フィルターを使った方のモデルケースともいえる斬新さを感じました。

天野太郎 横浜美術館首席学芸員

人物像が反射した虚構的のイメージだけに、撮影者はこれらの人々とのような関係性を結びたかったのかの意図やメッセージがあると良いのではと感じました。

ハマコ 横浜観光コンベンションビューロー公式キャラクター

何気ない日常の風景ながらも、国際都市ヨコハマを感じさせるような一枚。ちょっと足をのびせば、身近に異文化体験ができる横浜を感じさせる一枚ですね☆

### 撮影者からのコメント

雨の日のみなどみらい。みなさん、コスモクロックを見上げています。

### 審査員からの講評

渡部陽一 写真家

どのようにして撮影をされたのだろうと目を惹かれました。被写体との間に横線を入れる技術、まるで天然フィルターを使った方のモデルケースともいえる斬新さを感じました。

天野太郎 横浜美術館首席学芸員

人物像が反射した虚構的のイメージだけに、撮影者はこれらの人々とのような関係性を結びたかったのかの意図やメッセージがあると良いのではと感じました。

ハマコ 横浜観光コンベンションビューロー公式キャラクター

横浜のシンボリック存在、コスモクロックが効果的に写し出されたカッコいい写真ですね。みなさんにはちょっとした工夫でもおもしろい写真が撮れるオブジェやモチーフが色々ありますので、ぜひ自分らしい写真を取りたい方は遊びに来てくださいね☆

### 撮影者からのコメント

タイトル「Long Yellow Road」明治3年から続く日本大通りの、イチヨウ並木を歩くご夫婦です。お二人の姿に、開国以来歩んだであろう横浜の先人達の姿が重なりました。相手を思いやる優しい気持ち大切に、これからも共に歩んで行きたいですね。

### 審査員からの講評

渡部陽一 写真家

「背中を認る」とはまさにこの一枚にあると感じます。丁寧に見ていくとご夫婦でしっかりと手をつないでいることが確認できます。胸にグッとくる愛情の一枚であります。

天野太郎 横浜美術館首席学芸員

景観と人物のスケール感の調和に好感をおぼえます。

ハマコ 横浜観光コンベンションビューロー公式キャラクター

長い年月をかけて育った銀杏並木と、おそろく長い年月をかけて育まれたお二人の絆が重ねて感じられる素敵な写真だと思います♪

## 撮影者からのコメント

大栈橋に寄港している豪華客船飛鳥IIに歓声をあげて駆けつけるこどもたちをパチリ、安心安全な赤レンガ広場。

## 審査員からの講評

渡部陽一 写真家

歓声が写真から伝わってきます。この写真を見て思わず微笑んでしまいました。船の船主部分だけが写ることで船の大きさがより際立つ技術に頭がさがりました。

天野太郎 横浜美術館首席学芸員

部門テーマである「人」の印象が色濃く出た作品であると感じました。

ハマコ 横浜観光コンベンション・ビューロー公式キャラクター

ハツラツとした子ども達の様子が伝わってくる一枚。これほどまで、客船や港を近くで感じられる公園は全国でもそんなにはないはず。こうして小さいときから港や船に親しめるのも「ハマっこ」としての自慢の一つです◎

# ソーシャルメディア賞



17



18



19



20



21

### 撮影者からのコメント

毎年、多くの国際大会が行われる横浜

### 撮影者からのコメント

陽射しがまぶしいある夏の日に汽車道にて撮影した一枚。私の娘と大親友の息子くんは同級生。手をつないで、ウキウキしながら汽車道をお散歩中です。これからも私たちのように仲良くなってほしいなあ。

### 撮影者からのコメント

大栈橋に砕氷船しらせが入港した時に見に行きました。 飼いはスコイ！スコイ！と興奮していますが、愛犬は興味なさそうです。くじらの背中で寝てしまいました。

### 撮影者からのコメント

私の大好きな根岸森林公園旧競馬場スタンドを背に2人の老婆が何を話しているのでしょうか？モククロで...

### 撮影者からのコメント

夕暮れの大さん塘を息子と散歩。ゆるやかにカブするウッドデッキは車イスでも散策しやすく、大好きなヨコハマが一望できるお気に入りの場所です。

# ファミリーウォーカー特別賞



22

### 撮影者からのコメント

横浜でも数が少なくなってきたブランコのある公園（中華街 / 山下町公園）

### 審査員からの講評

山本篤史 ファミリーウォーカー編集長

構図に動きがあって、親子のふれあいの楽しさが伝わってきます。またお父さんの服の色とブランコの色がペアになっているのも写真としての完成度を高めています。背景に横浜らしさが盛り込まれているのも素敵です。

# 各部門共通 スマートイルミネーション賞



23

### 撮影者からのコメント

2012年11月03日スマートイルミネーション2012横浜でのイベントの一つ、PIKA PIKAワークショップ「まぞらにおえかき」にて参加者が思いの持ちを表現しました

### 審査員からの講評

森日出夫 写真家

長時間露光で街と光の調和を見せる良い作品が多く、選出するのに苦労しました。みんな協力してイルミネーションを作っている様子がよくわかり、赤レンガとのアングルのバランスも良いこの作品が受賞にふさわしいと感じました。